

農業を知る、語る2日間



米づくり、ものづくり、人づくり



The Den-en Dream Project

2009. 12. 19/20

田園ドリームプロジェクト
—米・もの・人を語り考えるプロジェクト



19 | 土 | トークイベント 場所 京都精華大学 黎明館

- ① 13:00-14:30 嘉田由紀子×石津大輔×家倉敬和×服部滋樹
- ② 14:45-16:15 MOTOKO×土田ヒロミ

20 | 日 | トークイベント&ライブ 場所 元・立誠小学校

- ① 14:00-15:30 山田國廣×松本茂夫×京都精華大学 学生
 - ② 16:00-17:30 石津大輔×松山剛士×家倉敬和
- ライブ 開場 18:00 会演 18:30-20:30 場所 講堂
青柳拓次 with 木津茂理 & 畠山美由紀 with 笹子重治

料金 トークイベント…無料 / ライブ…予約 3300円、当日 3800円

イベント運営事務局 **shin-bi** 京都精華大学 shin-bi 詳しくはチラシ裏面をご覧ください
主催 田園ドリームプロジェクト実行委員会 www.monkeyw.com/d
後援 滋賀県 / 財団法人滋賀県文化振興事業団 共催 P-hour / 立誠・文化のまちプロジェクト運営委員会

DDI-009

米づくり、ものづくり、人づくり

戦後、私たちは画一化・均一化による生産性の向上を追求し、大きな経済成長を遂げてきました。また、技術の進歩に伴う機械化や時間の短縮でそれまでの“くらし”が一変し、現在の、ものに囲まれた便利で“豊かな生活”を手にすることができました。ところが今、その豊かなはずの世の中に多くの問題が生じています。例えば、脅かされる食の安全。そして何より、人間らしさの喪失が顕著になっています。

これは、効率を重んじるあまりに、私たちが「ものづくり」を疎かにしてきた結果ではないでしょうか。手作業による「ものづくり」、その多様性に満ちた愛おしい豊かさ、じっくりと手間をかけて創造することで育まれてきた文化、そこにきらりと光る人々の誇り。

日本における「ものづくり」の原点。それは日本文化の代表である「米づくり」であると田園ドリームプロジェクトは考えます。「米づくり」から生活のなかの「ものづくり」を、そして「人づくり」を再考する——創造的活動の中心である美術大学や学校は、それにふさわしい場所であると言えるでしょう——。「ものづくり」から始まる、生きた“くらし”。本当に豊かな生活の復活を目指して。田園ドリームプロジェクトの活動は始まっています。

田園ドリームプロジェクトとは

日本文化の原点であり産業でもある「米づくり」を次世代に伝えるために、私たちは何をすべきか。滋賀県の一次産業従事者は食料自給の面はもちろん、京阪神の水産・琵琶湖の生態系の番人として、非常に大きな役割を担っている。新たな課題に挑む滋賀県在住の若手農業家たちと意見を交わし、農業の未来を考えるプロジェクト。



携帯サイト

12.19 | 土 | トークイベント

場所 京都精華大学 黎明館 MC タカザワケンジ

- ① 13:00-14:30 (90分)
- ② 13:00-14:30 (90分)

嘉田由紀子 滋賀県知事
×
石津大輔 米農家 針江のんきいふぁーむ
×
家倉敬和 米農家 お米の家倉
×
服部滋樹 デザインオフィス graf 代表

MOTOKO 写真家
×
土田ヒロミ 写真家

20 | 日 | トークイベント&ライブ

場所 元・立誠小学校 教室 MC 井上英樹

- ① 14:00-15:30 (90分)
- ② 16:00-17:30 (90分)

山田國廣 京都精華大学 環境社会学科教授
×
松本茂夫 農業家 農業法人大戸洞舎代表
×
京都精華大学 学生 人文学部環境社会学科

石津大輔 米農家 針江のんきいふぁーむ
×
松山剛士 飲食店経営 ソラノネ紀伊国屋
×
家倉敬和 米農家 お米の家倉

場所 元・立誠小学校 講堂

- ライブ 18:30-20:30 (120分)

開場 18:00
料金 予約 3300円 / 当日 3800円

青柳拓次 (Vocal ほか)
with 木津茂理 (和太鼓)

畠山美由紀 (Vocal)
with 笹子重治 (Guitar)

嘉田由紀子 かだ・ゆきこ 滋賀県知事
1950年埼玉県生まれ。70年代から日本、アメリカ、アフリカなどの地域社会の中で人と水との関わりを研究。京都精華大学教授。琵琶湖博物館研究顧問、水と文化研究会世話役を経て2006年滋賀県知事に。

家倉敬和 やぐら・たかかず 米農家 お米の家倉
1980年滋賀県長浜市湖北町生まれ。両親と3人での家族農業。米、麦、大豆を栽培。「農業サヨナラ米プロジェクト」を立ち上げ、安心・安全な米作りを模索・研究中。

土田ヒロミ つちだ・ひろみ 写真家
1939年福井県生まれ。変貌する日本の姿を撮り続けている写真家。会社勤めをしながら写真を学び、71年にフリーランスとなる。「自閉空間」で第8回太陽賞。主な写真集に『俗神』『ヒロシマ』など。

松本茂夫 まつもと・しげお 農業家 農業法人大戸洞舎代表
1952年滋賀県長浜市湖北町生まれ。食べ物と住まい作りを自分で作る「どっほ村」発起人。3年で農業・大工として独立できる技を学び、オリジナルの道を「独歩」できるカリキュラムは各方面で話題に。

MOTOKO もとこ 写真家
1966年大阪府生まれ。「田園ドリームプロジェクト」発起人。音楽、広告、ファッション、グラフィックなどジャンル・スタイルを問わず、幅広い領域で活躍。主な作品集に『Day Light』『京都』など。

石津大輔 いしづ・だいすけ 米農家 針江のんきいふぁーむ
1982年滋賀県高島市新旭町生まれ。両親と弟の家族農業。ファッションの世界から農業へ転身。「食と農を明日につなぐ」をモットーに安心・安全な米作りを心がけている。生態系を保全した田作りにも挑戦中。

服部滋樹 はっとり・しげき デザインオフィス graf 代表
1970年大阪府生まれ。京都精華大学デザイン学部建築学科特任准教授。98年大阪南堀江にショールーム graf をオープン。家具の制作、店舗や住宅の設計・施工、グラフィックデザインなど幅広い活動を行う。

山田國廣 やまだ・くにひろ 工学博士 / 京都精華大学人文学部環境社会学科教授
1943年大阪府生まれ。70年頃から水環境汚染の調査を始め、トリハロメタン問題やゴルフ場汚染などに取り組む。最近は精華大学周辺で里山暮らしを研究実践。著書に「ゴルフ場亡国論」「億人の環境家計簿」など。

松山剛史 まつやま・たけし 飲食店経営 ソラノネ紀伊国屋
1975年京都府生まれ。滋賀県高島市安曇川で無農業有機栽培のブルーベリー、ハーブ、野菜で作った食事を提供する飲食店を経営。かまどで食べる米の味は一度食べたなら忘れられないと好評。

井上英樹 いのうえ・ひでき 編集者 /ライター
1972年兵庫県生まれ。インタビューや紀行を中心に取材を続ける。著書に各階著名人に子ども時代の夢を尋ねた「ぼくのしょうらいのゆめ」。

タカザワケンジ たかざわ・けんじ 編集者 /ライター
1968年群馬県生まれ。「日本カメラ」「PhotoGRAPHICA」などの写真誌や「Papyrus」などの文芸誌で写真家や小説家のインタビューをおこなう。

京都精華大学へのアクセス
◎地下鉄烏丸線「国際会館駅」下車。3番出口を右に30mの京都精華大学直通専用バス停からスクールバス運行。◎叡山電鉄「京都精華大学前駅」下車すぐ。◎叡山電鉄「京都市左京区岩倉木野町137

元・立誠小学校へのアクセス
◎阪急「河原町」駅Aより徒歩5分。「祇園四条駅」駅Bより徒歩12分。◎JR「京都」駅より、京都市バス4号、17号、205号系統で約10分「四条河原町」バス停C下車。徒歩5分。中京区木屋町四条上る300m



イベントに関するお問い合わせ
info@shin-bi.jp

ライブの参加予約 yoyaku@shin-bi.jp
「田園ドリームライブ」、氏名、電話番号、参加人数をお送り下さい。FAX、お書でも受け付けております。

イベント運営事務局 **shin-bi** 京都精華大学 shin-bi 〒600-8411
京都市下京区水銀屋町620 cocon鳥丸3F tel/fax 075-332-0844 e-mail info@shin-bi.jp www.shin-bi.jp